

# 1. 一般国道168号 香芝王寺道路

# 事業概要

## ○事業の目的

一般国道168号（香芝王寺道路）は、奈良県北西部の地域間交流を支援する南北の幹線道路であり、4車線化による渋滞緩和、交通安全確保及び地域の活性化を目的とする道路である。

## ○事業の概要

- ・ **事業名** : 一般国道168号 香芝王寺道路
- ・ **事業区間** : 奈良県香芝市北今市～北葛城郡王寺町畠田4丁目
- ・ **延長** : L=3.2km
- ・ **計画諸元** : 4種1級 W=25.0m（4車線）設計速度50km/h
- ・ **事業化年度** : 平成18年度
- ・ **全体事業費** : C=約151億円
- ・ **今までの投資額** : C=約6億円（進捗率=約4%）

## ○現況の課題

- ・ 混雑度2. 3で県内国道（2車線以上）ワースト3位、事業区間全てが「渋滞が著しい箇所※」
- ・ 幅員狭小の現道（現道幅員が6m程度しかなく、大型車すれ違い困難）
- ・ 中和幹線から西名阪自動車道へのアクセス道路としての早期整備が必要



写真1

(交通渋滞の状況)



写真2

(大型車のすれ違い困難状況)

※: 「渋滞が著しい箇所」とは、県内の国道と県道で、「渋滞が発生している箇所」の内、特に問題となる踏切、交差点が含まれている箇所のこと。



図1 位置図

図2 平面図

## 2. 費用便益比(B/C)の点検結果

### ○計画交通量と事業費

計画交通量	24,400台/日
事業費	151億円

#### 【参考】

前回評価時<sup>※</sup>の計画交通量 30,700台/日  
 前回評価時<sup>※</sup>の事業費 153 億円

※平成17年度評価

### ○点検結果

事業全体	B/C=1.5
------	---------

注) B、Cは、評価時(平成21年度)の価値に換算している。

#### 【参考】

前回評価時<sup>※</sup>の事業全体B/C=1.8

※平成17年度評価

### ○便益(B)の内訳

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益
事業全体	168億円	14億円	3億円

### 3. コストの見直し

○ 全体事業費 約151億円（前回（平成17年度）評価時の事業費 約153億円）

1. 事業費の増加要因

・なし

2. コスト縮減の取り組み

・ 道路端の擁壁に既製品を採用など 約 2億円

※事業費の増減： ▲約2億円

## 4. 便益(B)に計上されていない効果

### ①通過交通の減少による生活道路の通学児童等の安全性向上

- ・約21,000台/日（平成17年度道路センサス交通量）の車両が通行している一般国道168号の整備（4車線化・歩道設置）により、生活道路の交通量が減少し、児童数が約320人の志都美小学校等の通学児童等の安全性が向上。

### ②医療機関への緊急搬送時間の短縮

- ・第2次救急医療機関である恵王病院への緊急搬送時間を短縮。（北今市7丁目付近から恵王病院への所要時間約5分短縮、平成20年搬送実績2件）

### ③緊急車両のアクセス向上

- ・香芝消防署からの到着時間が短縮。（香芝消防署から尼寺2丁目付近への所要時間約4分短縮、平成20年出動回数約40回）



写真3  
(交通渋滞の状況)

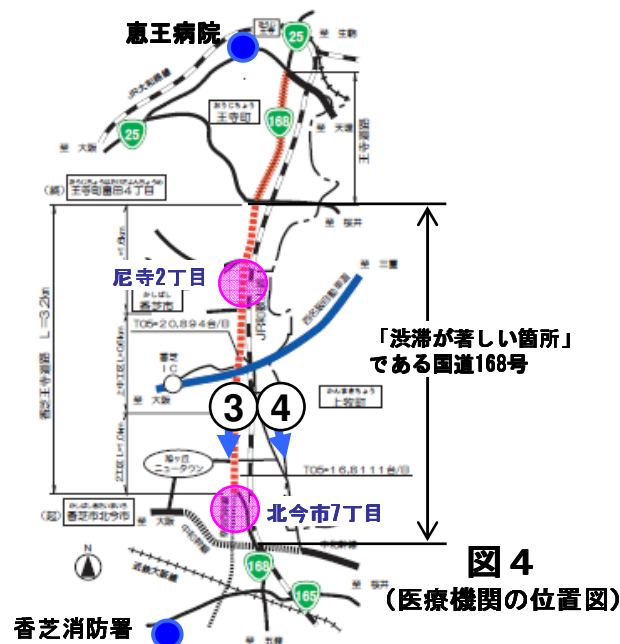


写真4  
(生活道路への車両流入)